

会 議 録

全部記録 要点記録

1 会議名	第4回 姫路市スポーツ推進計画検討会
2 開催日時	令和7年2月5日（水曜日） 10時00分～11時45分
3 開催場所	姫路市役所本庁舎10階 第4会議室
4 出席者又は欠席者名	（出席者）別紙1参照
5 傍聴の可否及び傍聴人数	傍聴可、0人
6 議題又は案件及び結論等	<ul style="list-style-type: none">・ パブリック・コメントの結果について・ 計画（案）について
7 会議の全部内容又は進行記録	詳細については別紙2参照

姫路市スポーツ推進計画検討会構成員名簿

(敬称略)

	氏 名	肩書等
出席	末井 健作	兵庫県立大学名誉教授
出席	松本 直子	姫路市スポーツ協会 副会長
欠席	恒木 克仁	姫路市スポーツ推進委員会 会長
出席	早藤 卯人	兵庫県高等学校体育連盟西播支部 理事長
出席	内海 雅章	姫路市中学校体育連盟 会長
欠席	田中 彰子	姫路市小学校体育連盟 副会長
出席	平山 秀子	姫路市立幼稚園健康推進連盟 理事
出席	小林 弘子	特定非営利活動法人 姫路市身体障害者福祉協会 副理事長
出席	合田 勝彦	姫路商工会議所 専務理事
出席	岸田 直美	一般社団法人日本女子サッカーリーグ 理事
欠席	天野 宏信	公募市民
出席	山本 裕子	公募市民

別紙 2

	<p>1 開会 (10:00)</p> <p>2 議題</p> <p>(1) パブリック・コメントの結果について</p>
委員	<p>中学校体育施設夜間利用事業について、実施中学校を確認してほしい。</p>
事務局	<p>山陽中学校、大的中学校、書写中学校の3校である。豊富中学校は休止中</p>
座長	<p>中学校部活動の地域展開に伴い、自主的なサークルができてくると思う。さらに地域住民がスポーツする場所も必要。今後、学校体育施設の開放事業を積極的に展開していく必要があると思う。</p>
委員	<p>資料 2-2 計画案の参考資料ページについて、「本計画策定の経過」の後に「用語解説」となっているが、掲載順を入れ替えた方が一般的ではないか。</p>
事務局	<p>他都市の計画を参考にし、この掲載順としている。</p>
事務局	<p>資料 1-2 の No. 2 の意見について、一人ひとりの健康づくりという要素を明記した方がよいか、委員の皆さまの意見をお聞きしたい。</p>
座長	<p>「個々の健全な心身を養う」ことは、スポーツを行う前提だと認識しているが、改めて明記しても問題ないと思う。</p>
委員	<p>「市の考え方」の説明が長く、理解しにくく感じる。修正することで、より簡潔な文章にしてもよいと思う。</p>

	(2) 計画（案）について
委員	中学校部活動の地域展開により、中学校の運動場や体育館に空き時間が増えると思う。生徒以外の利用も出てくるのであれば、生徒と保護者だけでなく、地域住民みなが知っておく必要があると思う。十分な周知を期待したい。
事務局	姫カツの認定を受けた活動が優先的に使用することになり、残った利用枠を一般の利用者が使うことになると思う。今年4月以降に実施体制が変わり、具体的な内容を決めていくことになる。
委員	各中学校で姫カツのポスターが掲示されている。ホームページにも掲載されている。また、入学説明会において、6年生とその保護者にこういう形で進めているという動画を見せることになっている。
座長	仕組みが変わっていく中で、スポーツをしたい人が楽しめる機会を確保し、スポーツ人口を増やしていきたい。中学校の体育館等は、その拠点になってくる可能性がある。今後、文化部も含めて地域に展開されていくのであれば、子どもや高齢者も利用できる仕組みが今後生まれると思う。
委員	<p>昨年には全国中学校体育大会（全中）で行われている競技を削減していくとの報道があった。今は姫路市中学校体育連盟（中体連）が大会を主催しているが、今後、引き続き無償で参加できるのか、学校や市立スポーツ施設を使用できるのかという課題が出てくると思う。</p> <p>また、一般の方が指導を担うケースが増え、今以上に土日の活動がメインとなってくるので、活動場所など運営がうまく回るのか気にしている。</p>
委員	高体連としては地域展開の話は一切出していない。高校に入っても引き続き外部のクラブで活動するという程度で、大きな影響はないと考えている。
委員	引退選手のセカンドキャリアの観点からも、動きやすい夕方の時間帯は、ちょ

	<p>うど学校の放課後の時間帯なので、指導できないか検討している。特に、体育大学出身の選手については、サッカーだけでなく様々な種目の体験会などでも活動を考えていきたい。</p> <p>また、サッカー協会においても、男・女のアマチュアを中心に人材バンク制度が検討されているところ。地域貢献の一つの形にならないかと思っている。</p>
座長	<p>かつて兵庫県体育協会が人材バンクの制度を設けたが、自然消滅してしまった。今後、指導者の養成・確保の観点から必要になってくると思う。姫カツにおいて、指導者の要件はどうなっているのか。</p>
事務局	<p>昨年 12 月に教育委員会が中心となって策定した「姫路市中学生スポーツ・文化芸術活動（新たな地域クラブ活動「姫カツ」）推進計画」において、指導者データバンクに登録し、特定の研修を受講することを指導者の要件としている。</p>
委員	<p>園児の保護者からも今後の部活動のあり方を心配する声を聞く。やりたいことをできるということが大切だが、人が集まらない地域ではできていない現状がある。地域展開により、違う学校の子どもも一緒になってやりたいことができる状況になれば良いと思う。</p>
委員	<p>障害者にとって一番大切なことは、人と交流をもつことである。そのための 1 つにスポーツがある。ひめじスーパーアリーナで、卓球バレーやフライングディスクなどをできるようにしてもらえるとありがたい。</p>
事務局	<p>市の行事でも積極的にユニバーサルスポーツを取り入れており、多くの健常者の方に参加いただいている。今後は、障害者を呼んでやっていくということにも力を入れていきたい。</p>
事務局	<p>ひめじスーパーアリーナは、シッティングバレーボールや風船バレー、ボッチャ、車いすバスケットボール等に対応しており、必要な備品も備えていく。</p> <p>また、屋内競技用プールには、可動床やスロープ、リフトなど障害のある方でも利用しやすい設備を整備していく。</p>

委員	<p>毎年、県から姫路大学で開催される風船バレーのイベントに要員を出してほしいという依頼があり、U18とU15の選手を派遣している。毎年参加することで、手話を教えてもらうなど様々な交流につながっている。トップチームの活用策としても有効な取組だと思う。</p>
委員	<p>中学校部活動の地域展開における指導者には給料が出るのか。</p>
事務局	<p>参加者が負担する参加費の中から謝金が支払われることになると思う。</p>
委員	<p>資料 2-2 計画案の 9 ページにある「供しました。」という表現は一般的ではないと思う。また、9 ページから 11 ページまでの「第 1 期計画の振り返り」について、「～実施しました。」などの過去形の表現になっており、今後は実施しないような印象を与えてしまうのではないか。</p>
事務局	<p>一般的でない表現については検討する。「第 1 期計画の振り返り」については、第 1 期計画期間における本市の取組実績を記載しているため過去形にしている。</p>
座長	<p>まとめますと、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校部活動の地域展開を機に、地域住民にとってのスポーツ機会が十分に確保されるようなスポーツ推進計画、施策となってほしい。 ・ 計画の基本理念「ともにスポーツを楽しみ、活力あふれるまちへ～スポーツ交流都市ひめじ」の観点に立って、ひめじスーパーアリーナをはじめとするスポーツ施設や中学校体育施設の活用、指導者の確保など、事務局においても鋭意良い方向に進めてもらいたい。
事務局	<p>事務連絡</p> <p>3 閉会 (11:45)</p>